

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行していただく「強制」を示します。

してはいけない「禁止」を示します。

気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意

注意

禁止

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 凍結の可能性がある場所には設置しないでください。凍結破損により漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 無理な施工はしないでください。通水不良や器具破損の恐れがあります。

注意 施工完了後、各器具から漏水がないかご確認ください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

製品仕様

取付穴径	22~28ミリ (35ミリ*)
取付厚	5~35ミリ

* 穴径35ミリに取付ける場合は、単水栓取付アダプター(107-823:別売)が必要です。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材があることをご確認ください。

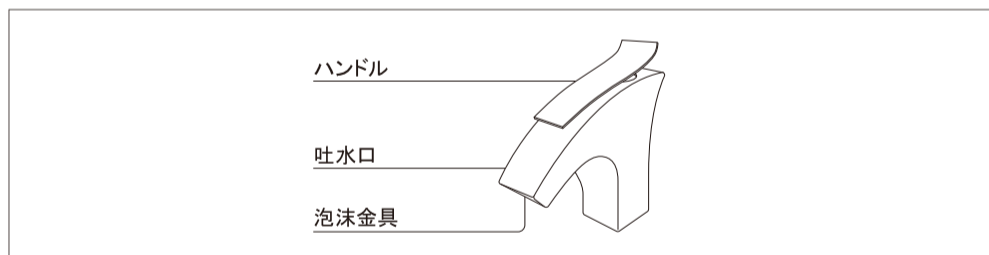
共通同梱部材

● 水栓本体 ● 泡沫内芯取外工具 ● 六角レンチ(対辺1.5ミリ)

その他同梱部材

* ZW0(ゾウ)シリーズの製品には、
● デコレーションシール

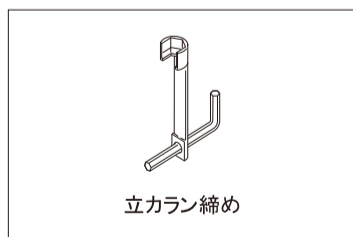
各部のなまえ



* 品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

施工の前に

準備するもの



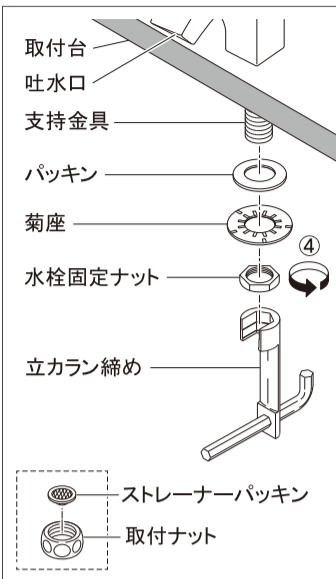
* 左記に加えて、
● モンキーレンチ
をご準備ください。

施工方法

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. 水栓本体を取付けます。

取付穴径 22~28ミリの場合



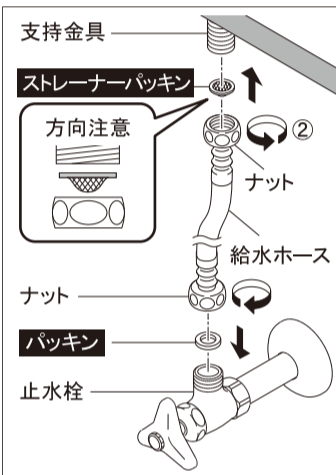
- ① 支持金具から取付ナット・ストレーナーパッキン・水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
* 部品が別袋に入っている場合は、この作業は必要ありません。
- ② 水栓本体底面に台座シートが貼付けられていることを確認します。
- ③ 吐水口が正面を向くように取付台に差込みます。
- ④ パッキン・菊座の順に支持金具に通し、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けます。

取付穴径 35ミリの場合

単水栓取付アダプター(107-823:別売)が必要です。
取付方法は同梱の説明書をご参照ください。

2. 止水栓と接続します。

給水ホースを使用する場合

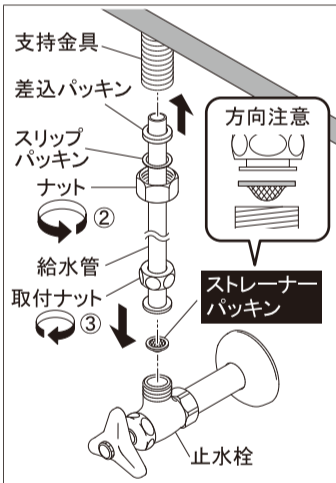


- ① 「1. 水栓本体を取付けます。」で取外したストレーナーパッキンを給水ホースのナットにはめ込みます。
* ストレーナーパッキンの向きにご確認ください。
- ② 給水ホースのナットにストレーナーパッキン・パッキンが入っていることを確認し、支持金具・止水栓にしっかりと固定します。
* パッキンの入れ忘れにご注意ください。
* 使用しなかった部材は、なくさないようご注意のうえ、製品使用者にお渡しください。

必ず実行

- フレキパイプをご使用の場合は接続する配管を確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマー等の振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。
- 止水栓と接続する際は必ず同梱のストレーナーパッキンをご使用ください。ストレーナーパッキンを使用しない場合、止水不良を起こす恐れがあります。

給水管を使用する場合



- ① 取付ナット・ナット・スリップパッキン・差込パッキンを順に給水管にはめ込みます。
- ② 給水管を支持金具の奥までしっかりと差込み、ナットをしっかりと締付けます。
- ③ 「1. 水栓本体を取付けます。」で取外したストレーナーパッキンを取付ナットにはめ込んでから、取付ナットを止水栓にしっかりと締付けて固定します。
* ストレーナーパッキンの向きにご確認ください。

必ず実行

- 止水栓と接続する際は必ず同梱のストレーナーパッキンをご使用ください。ストレーナーパッキンを使用しない場合、止水不良を起こす恐れがあります。

施工後の確認

- ① 止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。
- ② ハンドルを開き、吐水状態を確認します。適量で吐水するために、止水栓で水量を調節してください。

使用方法

ハンドルの操作方法

吐水・止水



ハンドルを奥へ押すと「吐水」、戻すと「止水」します。

必ず実行

- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉じると配管に衝撃が加わり、配管から漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

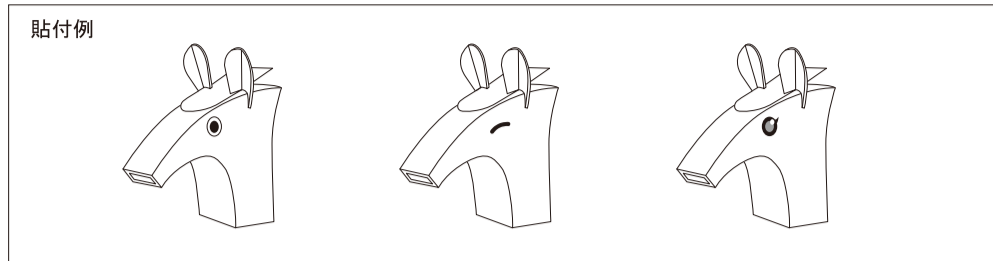
禁止

- ハンドルを左右にまわさないでください。

使用方法(つづき)

デコレーションシールの使用方法(ZwO(ゾウ)シリーズの場合)

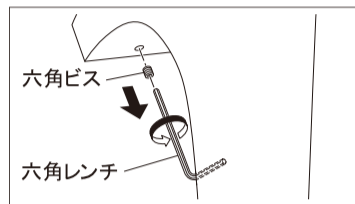
デコレーションシール(3種類)を同梱しています。お好みに合わせてシールを貼り、お好きな顔をお楽しみください。
*シールを貼る際は、水栓をきれいに拭いてからお好みの位置に貼ってください。



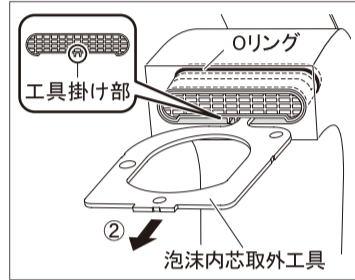
お手入れ方法

泡沫内芯のお掃除

*作業前に、必ず止水栓または元栓を閉じて止水してください。



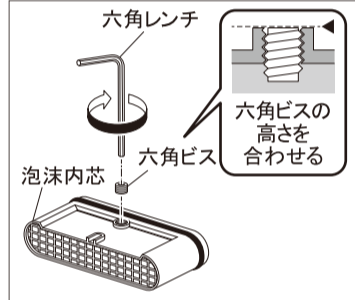
①同梱の「六角レンチ(対辺1.5ミリ)」を吐水口下部のビス穴に差込み、反時計回りにまわして六角ビスを取外します。
*六角ビスをなくさないようご注意ください。



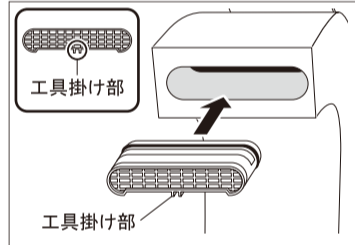
②「泡沫内芯取外工具」の先端を泡沫内芯の工具掛け部に引掛け、手前にゆっくりと引出して泡沫内芯を取外します。

注意 泡沫内芯のリングを傷つけないようご注意ください。

③ゴミなどの異物を水洗いして取除きます。

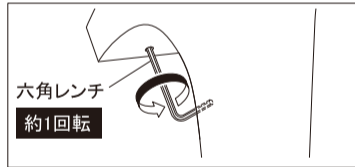


④掃除した泡沫内芯に、取外した六角ビスを泡沫内芯と同じ高さ(左図参照)になるように、同梱の「六角レンチ(対辺1.5ミリ)」でねじ込みます。



⑤泡沫内芯の工具掛け部が下になるようにして、吐水口先端に奥まで差込みます。

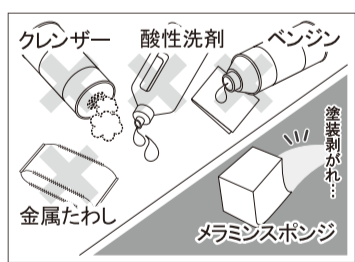
注意 泡沫内芯の上下を誤ると六角ビスで固定できなくなります。ご注意ください。



⑥吐水口下部のビス穴に同梱の「六角レンチ(対辺1.5ミリ)」を差込み、反時計回りに1回転ほどまわし、「泡沫内芯取外工具」で泡沫内芯が抜けられないことをご確認ください。

作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないことをご確認ください。

器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために。

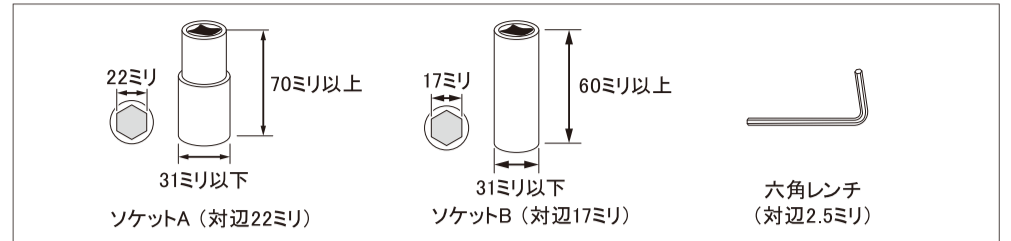


●水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいでください。
●水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。
*ZwO(ゾウ)シリーズの場合
「目」がシールのため、強くこすると剥がれる恐れがあります。お手入れの際は、剥がれないようご注意ください。

注意 金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

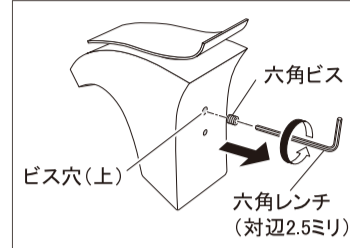
上部の交換方法

作業に必要なもの

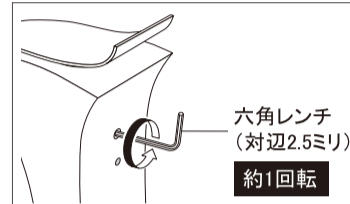


交換方法

作業前に、必ず止水栓または元栓を閉じて止水してください。

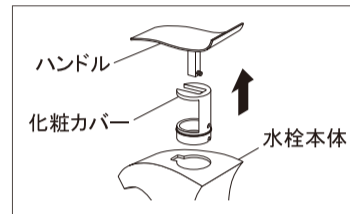


①本体裏のビス穴(上)に「六角レンチ(対辺2.5ミリ)」を差込み、反時計回りにまわして六角ビスを取外します。
*六角ビスをなくさないようご注意ください。

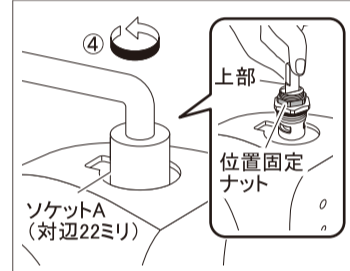


②ビス穴(上)に「六角レンチ(対辺2.5ミリ)」を差込み、反時計回りに1回転ほどまわします。

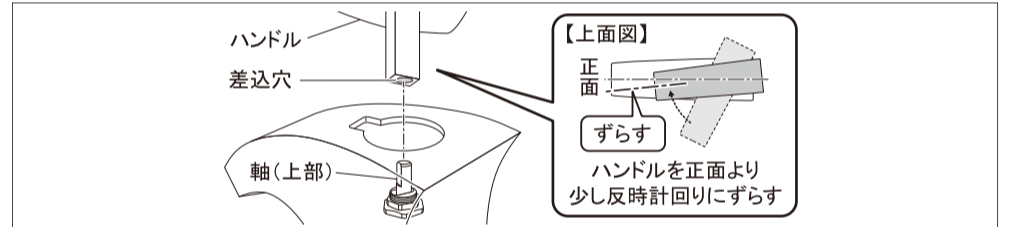
注意 六角ビスが抜け落ちないようにご注意ください。水栓内部に落ちて取出せなくなる恐れがあります。



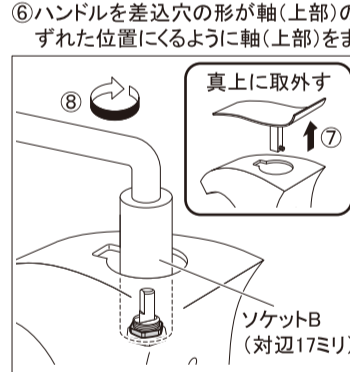
③ハンドル・化粧カバーの順に水栓本体から取外します。



④水栓本体に「ソケットA(対辺22ミリ)」を差込み、反時計回りにまわして上部をゆるめてから手で取外します。
⑤新しい上部の位置固定ナットをあらかじめゆるめてから、水栓本体に取付け、「ソケットA(対辺22ミリ)」を水栓本体に差込み、時計回りにまわしてしっかりと締付けます。



⑥ハンドルを差込穴の形が軸(上部)の形に合うように差込み、ハンドルが水栓本体の正面より少し反時計回りにずれた位置にくるように軸(上部)をまわします。
【上面図】
正面
ずらす
ハンドルを正面より少し反時計回りにずらす



⑦ハンドルを一旦取外します。
⑧水栓本体に「ソケットB(対辺17ミリ)」を差込み、時計回りにまわして位置固定ナットを締付けます。
*ハンドルを差込み、ハンドルが正面を向かない場合は、再度「ソケットB(対辺17ミリ)」を差込み、反時計回りにまわして位置固定ナットをゆるめ、⑥の作業を行ってください。
⑨①～③の逆の手順で組直します。

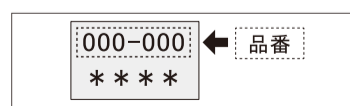
こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に、下記の要領で点検してください。

現象	原因	対処
吐水不良	吐水量が少ない	止水栓が閉じすぎている 止水栓を調節する 泡沫内芯の目詰まり 泡沫内芯を掃除する ストレーナーの目詰まり ストレーナーを掃除する
	吐水量が多い	止水栓が開きすぎている 止水栓を調節する
	全く吐水しない	止水栓または元栓が閉じている 適正水量になるまで止水栓または元栓を開く
止水できない	上部の異常	上部を交換する
ハンドル下から漏水	上部の異常	上部を交換する
ハンドルがかたい	上部の異常	上部を交換する

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

修理を依頼される前に



お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせいただく際、水栓本体にシールが貼付けられている場合は、そちらで品番をご確認ください。



株式会社 カワダイ
本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124